

集会案内

日曜日

礼拝：2:00pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637
中庭の小さいチャペル

地図



ホームページ

www.irvinenihongokyokai.org

榊原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

杉村宰牧師

電話 (714)527-1456

Eメール:sugimura1950@gmail.com

◎『石叫』◆ ◆国に従うか、神に従うか

「教会と国家」②

正教会が問題なのではありません。東方教会には豊かな霊性の伝統があり、ホーリネス信仰の源流であるジョン・ウエスレーはそこから影響を受けました。問題は教会と国家の関係にあります。カトリックであれプロテスタントであれ、教会が国家権力に迎合した例は古今東西にあります。

現在、中国や北朝鮮には政府公認教会と非公認の「家の教会」があります。公認教会では礼拝や宗教活動の自由が認められますが、それらの活動は政府の管理下に置かれています。中国の場合、共産主義を奉じる政府の方針に反するような、例えば神による創造を聖書とおり子どもに教える教育はできません。(北朝鮮ではもっと厳しく、公認教会自体が対外的に「信教の自由」を見せるための存在だとも言われています。)クリスチャンは、そうした規制の中でも教会堂で礼拝できる自由を求めて公認教会に属するか、聖書に忠実な信仰を守るため迫害を覚悟で非公認(地下)教会に属するかを選ばなければなりません。旧共産圏諸国は概して同様の状況に置かれていました。

◆日本にも同様の歴史が

宗教が国家が管理下に置こうとすることは、共産圏に限ったことではありません。日本でも戦前の宗教団体法によって、キリスト教教派は国策に沿った形の日本基督教団に合同を余儀なくされました。宗教団体法は、宗教団体の地位を明確とし、保護・監督を強化することを建前に、宗教を国家の統制下に置くことを目的としていました。

神社参拝が国民儀礼として強要される中で、偶像礼拝に厳しかったホーリネス教会などの中には、神社参拝を拒否する人もいた反面、神社は宗教ではないとした文部省の方針を受け入れ、神社参拝をする牧師もいましたし、戦勝祈願祈禱を奨励したりしています。そうした中で、一九四二年六月二十六日、「ホーリネス弾圧事件」がおきました。(著者の追記・ホーリネス系の教職者合計百三十四人が逮捕され、そのうちの七十五人が起訴された。車田秋次、米田豊らが実刑判決を受けたが、最終的に七名が獄死している)。

しかし、ホーリネス教会は迫害の被害者であっただけでなく、国策に迎合して戦争に加担した面もあった罪責を、一九九七年の教団総会で悔い改めています。

Rev. Tsukasa Sugimura

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。現在は、榊原宣行牧師の監督のもと、杉村宰牧師と啓子師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と、信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。